

令和7年度 消防本部の運営方針

消防長

白 岩 勝

消防本部の組織体制	
消防総務課	警防課
予防課	消防署

基 本 方 針	
○	各種災害に備えるための訓練を行い消防力の更なる向上を図るとともに、市民に対し応急手当の普及や防火防災意識の高揚に努めます。
	複雑多様化する火災や救急・救助事案へ対応するための車両及び災害現場においての安全対策のための資機材整備、老朽化した消防団蔵置所の建て替えなど消防力の基盤強化に努めます。
	地域防災の担い手である消防団の活動環境の整備とともに、消防団員の必要性について市民や事業所への広報活動を行うなど消防団員の確保に努め、地域防災力の強化を図ります。

重点的に取り組む施策・事業

1 応急手当の普及啓発と関係機関との連携による 消防力の強化（消防署）		3 すべての人に 健康と福祉を 	11 住み続けられる まちづくりを 	13 気候変動に 具体的な対策を 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	
現状・課題	応急手当の大切さを街頭広報やSNSなどにより情報発信するとともに、定期的に救急講習会や親子で参加できる入門的な講習会を開催しています。 また、通常災害に対応するための訓練に加え、大規模災害や特異災害時に集結した消防力を最大限発揮出来るよう、消防団や静岡県消防防災航空隊、近隣消防本部などと合同訓練を実施しています。 今後の課題としては、救命効果をより向上させるために、バイスタンダーによる応急手当の実施率の向上が不可欠であることから、正しい応急手当の更なる普及促進や限りある資源である救急車の適正利用を呼び掛けるとともに今後も基本訓練や関係機関との連携強化を目的とした合同訓練の継続が必要です。			達成目標	①中学生以上の誰でも参加できる一般公募講習会及び親子で参加できる救命講習会を15回以上開催します。 （令和6年度：15回） ②関係機関と合同訓練及び研修を12回以上実施します。 （令和6年度：11回）	
	取組内容	未来を担う子供達に対し、応急手当の大切さを学ぶ事が出来る入門的な救命講習会の開催を継続するとともに、幅広い年代の市民に定期的に普通救命講習会を開催し応急手当の普及や救急車の適正利用の広報に取り組んでいきます。 また、消防署隊と消防団等関係機関と合同訓練及び研修を実施し、災害態様に応じた消防活動を展開できる体制及び連携の強化を図ります。				

2 火災予防の推進（予防課）		3 すべての人に 健康と福祉を 	11 住み続けられる まちづくりを 	13 気候変動に 具体的な対策を 	17 パートナーシップで 目標を達成しよう 	
現状・課題	市民の防火意識の高揚を図るとともに、事業所の防火・保安体制の強化に取り組んでいます。 全国的に火災による高齢者の死者が増加しているため、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の推進など火災予防の啓発をいかに効果的に行うかが課題となります。 また、事業所の立入検査の実施と保安管理体制の充実強化に取り組んでいく必要があります。			達成目標	①75歳以上の高齢者世帯に対し、戸別訪問による住宅用火災警報器の設置及び維持管理の調査を菊川西地区に325世帯以上実施します。（令和6年度：322世帯）	
	高齢者世帯を中心に住宅用火災警報器の設置・維持管理を推進し、火災からの死傷者の軽減を図るため、住宅防火の啓発活動を実施します。 また、事業所への立入検査を実施し、防火・保安管理及び消防用設備などの適切な維持管理を指導するとともに、火災の未然防止と被害軽減に努めます。				②立入検査による法適合率を93%以上とします。（令和6年度：93%）	
取組内容						

- ①75歳以上の高齢者世帯に対し、戸別訪問による住宅用火災警報器の設置及び維持管理の調査を菊川西地区に325世帯以上実施します。（令和6年度：322世帯）
- ②立入検査による法適合率を93%以上とします。（令和6年度：93%）

3 消防力の基盤強化（警防課）		11 住み続けられる まちづくりを 			
現状・課題	各種災害への対応体制を確保するため、緊急車両の更新及び耐震性防火水槽の整備など、消防力の基盤強化を図っています。 火災や大規模地震及び集中豪雨などの自然災害への対応強化を図るため、今後も適正かつ計画的に車両などの更新整備を行っていく必要があります。 また、消防団の活動環境を整備するため、老朽化により修繕では対応できない消防団蔵置所の建て替えを進めています。		達成目標	①化学消防ポンプ自動車を更新します。 ②非耐震性防火水槽 2 基を耐震化します。 （令和 6 年度新設整備数：2 基） ③消防団嶺田蔵置所の建て替えを実施します。 ④広報誌等により、＃7119事業の広報を 2 回以上実施します。	
取組内容	各種災害や緊急消防援助隊派遣時に活用する化学消防ポンプ自動車等の更新、耐震性防火水槽の整備及び建築から43年経過し、老朽化した消防団嶺田蔵置所の建て替えを実施し、更なる消防力の基盤強化を図るとともに、引き続き、更新して不要となった緊急車両等を売却し、財源確保に取り組みます。 また、静岡県との共同事業となる救急安心電話相談窓口＃7119事業を推進し、救急車の適正利用の促進に努めます。				

- ①化学消防ポンプ自動車を更新します。
- ②非耐震性防火水槽2基を耐震化します。（令和6年度新設整備数：2基）
- ③消防団嶺田蔵置所の建て替えを実施します。
- ④広報誌等により、＃7119事業の広報を2回以上実施します。

4 消防団の活動環境整備 (消防総務課)		11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナースhipで目標を達成しよう		
現状・課題	全国的に消防団員のなり手不足が深刻な問題となっているなかで、企業や自治会並びに消防団員入団対象者とそのご家族などを対象に、消防団活動の重要性についての理解や協力を求め、活動に対する支援を頂くための取り組みを進めるとともに、新入団員だけでなく、長く活動していただける消防団員が増えるよう、消防団員の活動環境整備及び負担軽減を進めています。			達成目標	①消防団協力事業所を前年度事業所以上とします。 (令和 7 年 3 月末実績：40事業所)
	消防団協力事業所の登録事業所及び消防団応援の店の加盟店増加を進めるなど、従来から取り組んでいる消防団員の処遇改善を進めると併せ、令和 6 年度に作成した消防団員募集リーフレットを活用し、消防団員の活動及び必要性について企業、自治会及び関係者の皆さまへの理解促進活動を実施し、入団し易いかつ、長期にわたり活動し易い環境づくりを進め、消防団員の確保に繋げていきます。				②準中型免許取得費用補助金を 7 件以上交付します。 (令和 6 年度： 7 件交付) ③消防団員募集リーフレットを活用し消防団の理解促進活動を実施するほか、広報誌、SNS 等による消防団活動の PR を 4 回以上行います。